

【様式 2】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立牛津高等学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和 8 年 2 月 2 5 日 (水)

(2) 資料 (評価の参考とした資料)

令和 7 年度学校評価結果

令和 7 年度学校評価アンケート結果

令和 7 年度学校魅力化評価システムアンケート結果

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

目標および達成状況は妥当であり、大きな問題はないと考えられる。一方で、数値目標の中には前年より低下している項目も見られるため、改善が必要である。引き続き、最終評価が評価 B から評価 A へ向上するよう、さらなる取組を期待したい。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

取組状況はおおむね適切であるが、具体的な取組内容が分かりにくい項目も一部見受けられた。また、自己評価についてはやや甘いと感じられる部分がある。この学校を中学生にすすめる生徒の育成について、より一層の指導をお願いしたい。

③改善方策の適切さ

地域と連携しながら牛津高校の魅力を発信している点は、良い方向に向かっていると評価できる。一方で、学校の魅力向上を図る中で、教職員の働き方改革との両立は難しい課題である。昨年度より数値が悪化している項目については、その要因を丁寧に分析する必要がある。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

目標および達成状況は妥当であり、概ね問題はないと考えられる。ただし、数値目標の中には前年を下回っている項目もあるため、改善に向けた取組が求められる。引き続き、評価 B から評価 A への向上を目指した努力を期待したい。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

取組状況は概ね妥当であるが、基礎学力の向上に向けた取組については、さらなる充実を図ってもらいたい。自己評価についてもおおむね妥当であると考えられる。数値目標を達成できていない項目もあるが、中には厳しめの評価と感じられるものもあった。

③改善方策の適切さ

数値目標の改善については、完全な達成が難しい面もあると考えられるが、状況に応じて柔軟に対応しながら、継続的な改善に取り組んでももらいたい。

3 その他学校に対する意見や提言

牛津高校では、各学科の特色が生かされるよう、日頃からきめ細かな指導が行われていると感じられる。基礎学力の向上については、引き続き授業内容や指導方法の改善に取り組んでももらいたい。

また、高校入試の出願状況が昨年度より改善している点は、良い傾向であると評価できる。一方で、全国募集を含め、生徒確保に向けた不断の努力が今後も必要である。

さらなる学校の魅力発信は志願者数の増加と相関関係があると考えられるため、魅力強化委員会としても引き続き協力し、努力していく必要がある。